



# Weekly 第112号

## 個室ユニット推進協ニュース

【発行】一般社団法人全国個室ユニット型施設推進協議会

〒226-0015 神奈川県横浜市緑区三保町171-1 TEL: 045-921-0462 / FAX: 045-921-0472

直近の介護関連ニュース(ダイジェスト版)をお届けします。  
今週号は2019(令和1)年7月1日(月)~7月7日(日)までの1週間です。  
詳細は厚生労働省や各団体のHPなどで確認してください。**赤字は重要ニュース。**

### ■「生活が苦しい」高齢者世帯55% 18年国民生活基礎調査(7月1日)

厚労省は2018年「国民生活基礎調査」の結果を公表した。65歳以上の高齢者世帯の概要は以下の通り。17年の平均所得は334万9000円で前年より16万3000円増えた。定年退職後も就労する高齢者が増えたことが大きな要因とみられる。年金・恩給の収入が総所得の100%を占める世帯が51.1%に達し、年金が生活費の大きなウェートを占めている。暮らし向きでは、「生活が苦しい」33.1%、「大変苦しい」22.0%、合計55.1%で前年より0.9%上昇した。

### ■「CHASE」の収集項目 決定へ(7月4日)

厚労省の第9回「科学的裏付けに基づく介護に係る検討会」は、新たな介護サービスのデータベース「CHASE」に収集するデータの項目を絞り込んだ。できるだけ多くの介護事業所等が入力すべき「基本的な項目」(認知症の既往歴や身長、体重、摂食の状況など30項目)、加算対象事業所等が入力すべき「目的に応じた項目」(摂食・嚥下機能の検査、介助方法など47項目)、各事業所が任意入力する「その他の項目」(認知症スケール、3%以上の体重減少など)に3分類に大別。後、詳細を詰めてモデル事業を実施し、20年度本格稼働を目指す。

### ■過去最悪のペース 今年上半期の介護事業倒産(7月4日)

東京商工リサーチの「老人福祉・介護事業の倒産状況」(今年1~6月)によると、倒産は55件で上半期として最悪のペース。訪問介護が32件で最も多く、通所・短期入所介護、有料老人ホームなどの順に多かった。ヘルパー不足が倒産に繋がるケースが増えているという。